

2025年度 放送大学教育振興会助成事業成果概要

1. 事業の課題名

文化遺産防災における国際的な研修事業の e-Learning システム構築

2. 研究者情報

所属機関名	立命館大学理工学部/歴史都市防災研究所
職 名	准教授
研究者・研究 代表者氏名	金 度源

3. 事業の目的等

本事業は、申請者らが所属する立命館大学歴史都市防災研究所が、2006 年以来 18 回にわたって実施してきた文化遺産防災に関する国際研修を通じて蓄積してきた知見を、より広範な受益者に還元することを目的とする。2025 年度は、2024 年度に試験構築した e-Learning システムを大幅に見直し、講義資料・動画・ケーススタディ等の多様なコンテンツを体系的に整理・分類したオンラインアーカイブを構築する。これにより、国内外の文化遺産保存関係者や学生が時間・場所の制約なく学習できる持続的な学習基盤を確立し、文化遺産防災の国際的普及と人材育成への貢献を目指す。

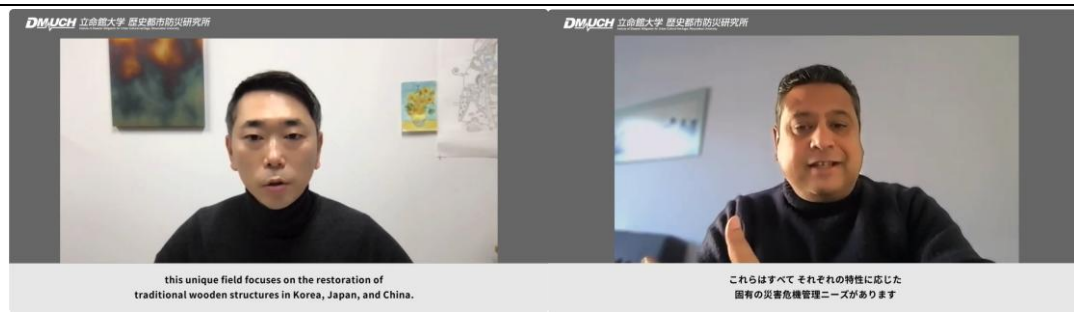
4. 事業の成果の概要

本事業では、2006 年～2024 年に実施した「文化遺産と危機管理」国際研修に関する資料を閲覧できるオンラインアーカイブ（Web サイト）を構築した。オンラインプラットフォームの設計と資料整理を進めると同時に、国際研修の経緯や意義を体系的に伝えるコンテンツとして、研修の設計・運営を主導してきた 2 名の専門家へのインタビュー動画を制作した。これにより、単なる資料の蓄積にとどまらず、研修の理念や実践知を伝える構成とした。本アーカイブの構築により、これまで個別に蓄積されてきた資料を横断的に整理・統合することで、研修の全体像を俯瞰的に把握でき、分野横断的な学習や比較分析を可能とする基盤が整備された。さらに、利用者の関心や目的に応じて柔軟に情報へアクセスできるよう導線設計を工夫し、教育教材としてだけでなく、実務における意思決定支援や研究の深化にも資するアーカイブとなるよう配慮している。

【アーカイブコンテンツの制作】

アーカイブのフロントページには、国際研修の設計と運営を主導してきた 2 名の専門家のインタビュー動画を配置した。動画では、研修実施の基本理念やこれまでの成果、国際的ネットワーク形成への貢献などが説明されている。制作にあたっては事前に内容の打合せを行い、視聴者の集中力に配慮して各 15 分程度に構成した。収録は制作業者立会いの下で行い、編集作業を外委託した。編集に際しては、既存の動画資料との統一感を持たせたデザインとし、日本語・英語字幕についても簡潔かつ的確な表現となるよう構成や用語の選定にも配慮した。また、視聴環境の多様性に対応するため、音声の明瞭化や字幕の可読性向上にも配慮し、学習効果の向上を図った。

インタビュー動画



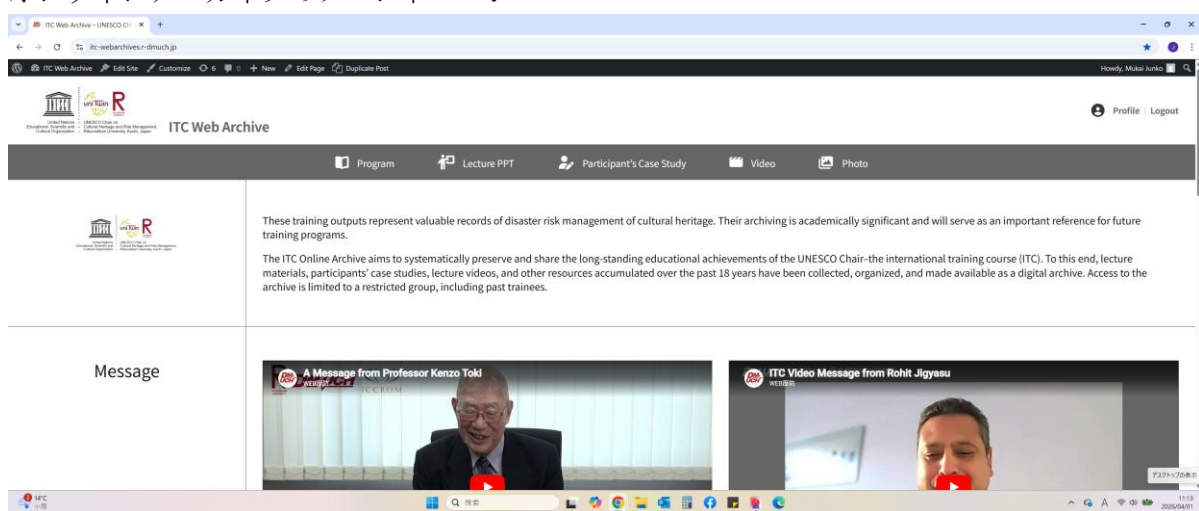
【オンラインプラットフォームの構築】

本アーカイブは、2024 年度に試験構築した e-Learning システムを大幅に見直して設計したものである。2024 年度に作成した講義動画に加え、国際研修で使用された 1157 件のコンテンツ（講義資料、研修生による災害危機管理計画案の発表資料、講義動画、研修中の写真等）を収録した。これらの資料は、講義分野、災害種別、対応段階、地域、年度といった複数の観点から整理・分類され、フリーワード検索にも対応することで高い利便性を確保した。また、著作権等への配慮から一部コンテンツは登録者限定公開としたが、関心のある利用者が容易にアクセスできるよう、簡便な登録システムを導入した。さらに、今後の継続的な更新や機能拡張を見据えた拡張性のある設計とし、教育・研究資源として長期的に活用できる基盤を整備した。

一方で、こうした検索機能や登録システムを備えたプラットフォーム構築の外部委託には、当初想定していた予算を上回る費用が発生することが委託先となる担当業者との打ち合わせを通して明らかとなったために、当研究所の独自資金を援用してプラットフォームを構築し、本助成金を用いては主にアーカイブコンテンツの作成に注力した。

本アーカイブは、2026 年 11 月 5・6 日に当研究所にてハイブリッド形式にて開催予定の国際研修 20 周年記念シンポジウム（Exploring the Past for the Future: 20 Years of Global Learning, Training and Networking in Cultural Heritage and Disaster Risk Management）において正式公開する予定である。

オンラインアーカイブのフロントページ



オンラインアーカイブの講義資料閲覧ページ

Lecture PPT

Search by title, name...

Select Year

Search by Lecture Content Search by DRM cycle Search by Disaster type

Theoretical Foundations Case Studies of Initiatives Technology Applications (e.g., GIS) Policy Traditional knowledge

和 Category: Theoretical Foundations

DAMAGE & RISK ASSESSMENT DURING EMERGENCIES

Development of Disaster Risk Management for Cultural Heritage in Historic City, Kyoto

EMERGENCY STABILISATION: PRINCIPLES AND PRACTICES

Historic Context of Living Heritage city, Kyoto

Linking Tangible and Intangible Cultural Heritage (ICH) for...

Development of Disaster Risk Management for Cultural Heritage in...

Intangible Cultural Heritage and DRM

Intangible Cultural Heritage in Disaster Risk Management